

こたえ

1年の



たしざん・ひきざん 下

7 $9+\bullet$ のたしざん **くりあがりのある**

1 (じゅんに)

1、
1、
1、
3、13

2 ①12 ②14

③15 ④17
⑤18 ⑥11
⑦16 ⑧13
⑨12

3 ①17 ②13

③15 ④14
⑤12 ⑥11
⑦18 ⑧16
⑨13 ⑩17
⑪14 ⑫16
⑬11 ⑭18
⑮15 ⑯12
⑰16 ⑱14
⑲12 ⑳17
㉑15 ㉒13
㉓18 ㉔11

10 $5+\bullet$ 、 $4+\bullet$ 、 $3+\bullet$ 、 $2+\bullet$ のくりあがりのあるたしざん

1 ①12

②11 ③14
④13 ⑤12
⑥11 ⑦13
⑧11 ⑨12
⑩11 ⑪12
⑫14 ⑬13
⑭11 ⑮11
⑯11

2 ①13 ②11

③12 ④12
⑤11 ⑥14
⑦11 ⑧11
⑨13 ⑩12
⑪11 ⑫13
⑬12 ⑭11
⑮14 ⑯12
⑰11 ⑱13
⑲12 ⑳11
㉑12 ㉒13
㉓12 ㉔11
㉕11 ㉖12

🏠 おうちの方へ **くり上がりのあるたし**

算では、10のまとまりをつくるのがポイントです。 $9+\bullet$ のたし算は、たされる数が9だから、まず9に1を加えて10のまとまりをつくることを考えます。

2 必要に応じて、はじめのうちはブロックなどを使って計算するとよいでしょう。

3 計算のしかたを声に出すのも1つの方法です。

①の $9+8$ を計算する場合、「8を1と7にわける。9に1をたして10、10と7で17」というようにします。

🏠 おうちの方へ これまでと同様に考えます。特に、たされる数が2～5の場合は、たされる数を2つに分けて10のまとまりをつくるのも1つの方法です。

新興出版社 × ちびむすドリル Special コラボ

ドリルの王様

楽しく取り組めるから**長続き**する！
各種**検定試験**、また**学習指導要領**にも対応！



ドリルの王様

or

教科書ぴったりにトレーニング

検索

ドリルの王様
公式サイトは
こちら



予習復習に便利な
教科書ぴったり
トレーニング
公式サイトはこちら



こたえ

1年の



たしざん・ひきざん 下



11

くりあがりの ある たしざん①

- 1
- ① 13 ② 11
 - ③ 12 ④ 14
 - ⑤ 12 ⑥ 14
 - ⑦ 11 ⑧ 12
 - ⑨ 18 ⑩ 11
 - ⑪ 12 ⑫ 17
 - ⑬ 11 ⑭ 12
 - ⑮ 13 ⑯ 15
 - ⑰ 13 ⑱ 11
 - ⑲ 15 ⑳ 15
 - ㉑ 11 ㉒ 13
 - ㉓ 15 ㉔ 13

- 2
- ① 11 ② 14
 - ③ 12 ④ 16
 - ⑤ 17 ⑥ 12
 - ⑦ 11 ⑧ 18
 - ⑨ 11 ⑩ 11
 - ⑪ 12 ⑫ 15
 - ⑬ 16 ⑭ 12
 - ⑮ 16 ⑯ 13
 - ⑰ 13 ⑱ 14
 - ⑲ 14 ⑳ 11
 - ㉑ 14 ㉒ 17
 - ㉓ 13 ㉔ 15
 - ㉕ 12 ㉖ 13

おうちの方へ くり上がりのあるたし算の計算練習です。これまでのように、まず10のまとまりをつくることから考えます。

1問1問、あわてずに正確に解くことをめざしましょう。

そして、答えをまちがえた計算があったときは、答えを見て直すだけでなく、かならずその計算をもう一度やり直しましょう。

新興出版社 × ちびむすドリル Special コラボ

ドリルの王様

楽しく取り組めるから長続きする！
各種検定試験、また学習指導要領にも対応！



ドリルの王様

or

教科書ぴったりにトレーニング

検索

ドリルの王様
公式サイトは
こちら



予習復習に便利な
教科書ぴったり
トレーニング
公式サイトはこちら



こたえ

1年の



たしざん・ひきざん 下



18

●-9の くりさがりの ある ひきざん

- | | |
|---|---|
| 1 ①(じゅんに)
10、
10、
1、3
②(じゅんに)
10、
10、1、
1、4 | 3 ①6 ②3
③8 ④4
⑤7 ⑥5
⑦9 ⑧2 |
| 2 ①5 ②7
③6 ④8
⑤9 ⑥4 | 4 (じゅんに)
2、7、
10、
10、3 |
| | 5 ①2 ②4
③5 ④6 |

🏠 おうちの方へ

くり下がりのあるひき算をします。12の2より、ひく数の9が大きいために、今までと同じようにひけないことに気づかせます。そのときの方法として、くり下がりを使うことを覚えさせます。10からならば、1けたの数はかならずひくことができます。ここで使うのが「10はいくつといくつ」という考え方です。「10-●」という計算は、確実にできるようにしておきましょう。

- くり下がりの意味を、数図ブロックで理解します。そして、同じことを数字を見てできるようにします。慣れるまでは、言葉で言いながら計算をして、やり方を覚えさせます。
- 別のくり下がりの考え方です。
12の一の位の数2だけをひき、次に9のうちのまだひきたりない7を10からひいて3と答えを出す方法です。
- ①のしかたと④のしかたのどちらで解いてもよいです。

新興出版社 × ちびむすドリル Special コラボ

ドリルの王様

楽しく取り組めるから長続きする！
各種検定試験、また学習指導要領にも対応！



ドリルの王様

or

教科書ぴったりにトレーニング

検索

ドリルの王様
公式サイトは
こちら



予習復習に便利な
教科書ぴったりに
トレーニング
公式サイトはこちら



こたえ

1年の



たしざん・ひきざん 下

21 ●-4、●-3、●-2の くりさがりの ある ひきざん

- | | |
|---|--|
| <p>1 ①(じゅんに)
10、6、
6、9
②(じゅんに)
10、
10、7、
7、9
③(じゅんに)
10、
10、8、
8、9</p> | <p>2 ①7 ②8
③9 ④8
⑤9 ⑥9
⑦9 ⑧8
⑨8 ⑩7
⑪9 ⑫9
⑬8 ⑭9
⑮8 ⑯9</p> <p>3 (じゅんに)
1、
10、
10、9</p> |
|---|--|

🏠 おうちの方へ これできり下がりのある計算がすべてできるようになります。まずは、どんな数をひくときも、10からひくことを理解します。それがわかったら、いろいろな考え方があることを覚えさせます。③は別のしかたです。

22 くりさがりの ある ひきざん①

- | | |
|---|---|
| <p>1 ①9 ②8
③9 ④7
⑤8 ⑥9
⑦6 ⑧7
⑨8 ⑩9
⑪5 ⑫6
⑬7 ⑭8
⑮9 ⑯4
⑰5 ⑱6
⑲7 ⑳8
㉑9 ㉒8
㉓6 ㉔7</p> | <p>2 ①3 ②4
③5 ④6
⑤7 ⑥8
⑦9 ⑧2
⑨3 ⑩4
⑪5 ⑫6
⑬7 ⑭8
⑮9 ⑯6
⑰7 ⑱9
⑲5 ⑳7
㉑9 ㉒8
㉓7 ㉔9
㉕8 ㉖5</p> |
|---|---|

🏠 おうちの方へ くり下がりのあるひき算は、全部で36通りしかありません。答えを覚えるぐらいくり返して練習します。そろそろブロックを使わずに計算してみます。

- 1** ①～㉑まで、ひかれる数が18から13まで順に並んでいます。
- 2** ①の続きのひかれる数が12からの問題です。
- ①の最後と②の後半は、順序が不規則になっています。

新興出版社 × ちびむすドリル Special コラボ

ドリルの王様

楽しく取り組めるから長続きする！
各種検定試験、また学習指導要領にも対応！



ドリルの王様

or

教科書ぴったりにトレーニング

検索

ドリルの王様
公式サイトは
こちら



予習復習に便利な
教科書ぴったりに
トレーニング
公式サイトはこちら

